

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月27日

協議会名: 旭市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
千葉交通株式会社 干潟ルート(CC-4-1)	ひかた市民センター～東6区集会所～東1区集会所～旭中央病院	<p>これまで、交通空白地域解消を目的とした一部ルート延伸や、JRにあわせた運行ダイヤ改正、安全を考慮した運行ルートの変更など、各種の見直しを行い、運行を維持してきた。これらにより、移動の円滑化も図られ、計画実施による効果が見られている。</p> <p>運賃収入以外の収入源の確保のため、コミュニティバスの車体に有料広告の掲載を行っている。</p> <p>引き続き総合公共交通マップを発行し、市内各戸、各公共施設に配布、市HPで周知を行った。</p>	<p>A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>C 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。</p> <p>目標 利用者数 7人/平日1便 3.5人/休日1便</p> <p>実績 利用者数2.4人/平日1便 1.7人/休日1便</p> <p>少子高齢化による人口減少等により、利用者が減少している。</p>	<p>引き続き運賃収入以外の収入源の確保のため、コミュニティバスの車体に有料広告を募集し掲載を行う。</p> <p>引き続き総合公共交通マップを発行し、市内各戸配布等を行い、運行内容の周知を行い利用者の回復を図る。</p> <p>地域公共交通計画に基づいた改善等を行っていく。</p>
千葉交通株式会社 干潟ルート(CC-4-2)	干潟駅～湯木坂上～東1区集会所～旭中央病院				
千葉交通株式会社 干潟ルート(CC-4-3)	干潟駅～湯木坂上～ひかた市民センター				
千葉交通株式会社 干潟ルート(CC-4-4)	ひかた市民センター～湯木坂上～干潟駅				
有限会社丸運タクシー (廃業:R6.3月まで) アステル交通株式会社 旭市デマンド交通(R6.4月より)	旭南地区	<p>令和5年3月に策定した地域公共交通計画に基づき、利便性向上策として、エリア跨ぎ運行(医療機関を中心とする)を令和6年4月より運行開始。</p> <p>市関係団体への出前講座の実施や市役所関係部署と連携し、周知を行った。</p> <p>引き続き総合公共交通マップを発行し、市内各戸、各公共施設に配布、市HPで周知を行った。</p> <p>また、定期的に乗降対象施設の更新を行った。</p>	<p>A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>C 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。</p> <p>目標 収支率 18.7%</p> <p>実績 収支率 13.4% (旭南 13.2%) (干潟・旭北 12.9%) (海上・飯岡 12.5%) (市内医療機関 18.4%)</p> <p>タクシー1台を増車しエリア跨ぎ運行(医療機関を中心とする)をおこない、昨年度より収支率増加をすることができた。</p>	<p>利用登録者の増加に向けて、引き続き総合公共交通マップを発行し、市内各戸配布等を行い周知を行う。</p> <p>また、市役所関係部署で連携し、利用者となる高齢者団体等に周知を行っていく。</p> <p>定期的に乗降対象施設の更新を行い、利便性の向上に努めていく。</p> <p>地域公共交通計画に基づいた改善等を行っていく。</p>
旭タクシー株式会社 旭市デマンド交通	干潟・旭北地区				
アステル交通株式会社 旭市デマンド交通	海上・飯岡地区				
アステル交通株式会社 旭市デマンド交通	旭市内全域 (医療機関を中心とする)				

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	<p>計画に位置づけた目標を達成することはできなかったが、有料広告の募集や公共交通マップを配布する取り組みを行ったことは評価できる。</p> <p>ホームページや公共交通マップでの周知活動や乗降対象施設の更新を行い利便性の向上に努めていただきたい。</p> <p>第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)を今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入している交通によって市民(町民、村民)の活動がどのように変わってきたのか、必要に応じて副次的な効果を分析することも検討していただきたい。 ・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。 ・生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。
-------------------------	---

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月24日

協議会名: 印西市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
ちばレインボーバス株式会社	コミュニティバス(ふれあいバス) 印旛・本埜支所ルート 系統: 印旛支所～竜腹寺～本埜支所～印西牧の原駅～本埜支所～竜腹寺～印旛支所(31.8km) 運行回数: 7便/日 運賃: 大人(中学生以上)100円 ※小学生・乳幼児・障害者手帳保持者及び介助者1人まで無料	・70歳以上の方を対象にふれあいバス運行区間を無料乗車できるフレアイカを継続した。 ・運行遅延の緩和対策として時刻改正を行い、利用者の利便性向上を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 B	●利用者数 ①目標: 13人/便 ②実績: 9.8人/便 【分析】 ・前年度比 R5: 9.2人/便 7%増 R1: 10.4/便 6%減 ※新型コロナウイルス感染症拡大前 ・荒野、竜腹寺地区の利用者 R5: 593人 R6: 659人 11%増 ・停留所「本埜支所」の利用者 ※R1設置 R5: 2,388人 R6: 3,490人 46%増 1便あたりの利用者数は目標値に届かなかったものの、荒野、竜腹寺地区やバス待ち環境を整備した本埜支所の利用者が増えている。引き続き目標値を達成できるよう運行事業者などと情報共有し、利便性の向上に努める。	ふれあいバス運行実態について検証を継続するとともに、交通不便地域への対応と併せ、必要に応じ、運行ルート及び運行ダイヤの見直しを行い、さらなる利便性の向上を図る。

地方運輸局等における
二次評価結果
(関東運輸局)

1便あたりの利用者数の目標値は達成できなかったものの、前年度より利用者数増加しており、無料乗車区間の継続や、時刻表改正の取り組みを行ったことは評価できる。
 運行ルート及び運行ダイヤの見直しを行い、利便性の向上に努めていただきたい。
 第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)を今後の検討の参考としていただきたい。
 ・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。
 ・生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月27日

協議会名: いすみ市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
小湊鐵道株 いすみ循環-1	市役所大原庁舎～長者町駅～ いすみ医療センター～市役所 大原庁舎	本市の住民基本台帳に記録されている大学生、専修学校生の利用料を免除に改定し、若者世代の公共交通利用意識の醸成を図った。また、75歳以上の方と65歳以上で運転経歴証明書の交付を受けている方を対象に、市内バス無料バスポートを交付しているが、より多くの方々に利用していただくため、高齢者の負担軽減を図り、パスポート申請時の顔写真の添付を不要とした。コロナ禍前よりも住民等が市内循環バスを利用する機会が増えている。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	利用状況を注視し、必要に応じ、運行時刻や路線の見直し、路線の再編等を検討していく。また、今後も、広報やホームページ等を活用し、利用促進に向けた継続的な啓発等を実施する。	
小湊鐵道株 いすみ-2	市役所大原庁舎～長者町駅～ 房信夷隅町支店前		A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。		事業が計画に位置づけられた目標を達成した。 目標: 30,000人 実績: 36,932人
小湊鐵道株 いすみ-3	市役所夷隅庁舎～下布施～市 役所大原庁舎		A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。		分析: コロナ禍前よりも利用者が増加している。利用料金の改定や無料バスポート申請時の負担軽減を図ったことによる効果も要因であると考えられる。
小湊鐵道株 いすみ-4	長者町駅～市役所夷隅庁舎～ 市役所大原庁舎		A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。		A

地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	<p>若者の利用意識の醸成、パスポート申請の簡略化の取り組みを行い、計画に位置づけた目標を達成したことを評価する。引き続き利用促進に向けた啓発を実施して目標達成に向けて事業を遂行されることを期待したい。</p> <p>第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)を今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗車人数が目標を達成されたことは素晴らしい。 ・特定少数の利用者が繰り返し利用しているのではなく、導入の目的を達成しているかを検証するため、延べ乗車人数以外のデータも確認することなども検討していただきたい。
---------------------------------	--

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月29日

協議会名: 香取市地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
千葉交通株式会社	香取市循環バス(小見川ルート) ●系統:小見川駅～高萩～小見川駅(30.8km) 運行回数:4回/日 ●系統:小見川駅～小見川高校～小見川駅(5.1km) 運行回数:4回/日 ●系統:工業団地～小見川駅(23.2km) 運行回数:1回/日 ●系統運賃: 大人300円、中学生100円、小学生以下無料 障害者手帳所持者(大人)100円 障害者手帳所持者(中学生)無料	地域(住民・利用者)からのお問い合わせが多い内容をまとめた公共交通ガイドマップ2023年3月版を作成し、利用促進を図った。 沿線の高校と連携し、高校の教室内に循環バス時刻表を掲載するなど利用者にわかりやすい環境整備を行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を未達であった。 目標①:利用者数15,000人 実績①:利用者数14,357人 分析①:R5.12月～R6.3月で通学者の減少したが、R6.4月以降は通学者が増加している。 目標②:収支率18.1%以上 実績②:収支率12.9% 分析②:通学者利用者微増により収入が増加したが、人件費高騰等による運行経費増加により収支率は悪化した。	高校生の通学時間帯では、乗車率が高いため、より多くの利用者獲得のため運行便数を増便するなどの対応を検討する。 また、スマホ定期の導入などを検討し、利用者数の増加及び収支率の改善を目指す。
京成タクシー成田株式会社	小見川乗合タクシー 営業区域: 小見川中央小学校・小見川東小学校の通学区域地区(利根川以北を除く) 運行日:月曜～金曜 運行時間帯:第1便8時～第9便16時 運賃:大人600円、中学生300円、小学生以下無料 障害者手帳保持者300円 障害者介助者300円	地域(住民・利用者)からのお問い合わせが多い内容をまとめた公共交通ガイドマップ2023年3月版を作成し、公共施設等での配架を通じて、運行情報の効果的な提供を行う。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を見達であった。 目標①:利用者数7,400人 実績①:利用者数6,085人 分析①:登録者が高齢であり自然減が発生したことで利用者の減少につながった。 目標②:収支率22.7%以上 実績②:収支率16.3% 分析②:運賃収入は微増しているが、人件費高騰等による運行経費の増加により収支率が悪化した。	利用登録者を増やすため制度の周知を引き続き実施する。 また、便当たり平均乗合人数が2人未満であるため、運行便数の最適化等を引き続き検討する。
千葉交通株式会社	香取市循環バス(横断ルート) ●系統:小見川駅～山田支所～ミリの駅くりもと駅(30.27km) 運行回数:8回/日 ●系統運賃: 大人300円、中学生100円、小学生以下無料 障害者手帳所持者(大人)100円 障害者手帳所持者(中学生)無料	日常の買い物等の利用を促進するため、地域(住民・利用者)からのお問い合わせが多い内容をまとめた公共交通ガイドマップ2023年3月版を作成し、利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 目標①:利用者数3,500人 実績①:利用者数4,072人 分析①:通学時間帯以外の日常利用も微増している。 目標②:収支率6.9% 実績②:収支率4.9% 分析②:利用者は増加しているが、人件費高騰等による運行経費増加により収支率が悪化した。	通学や買い物など、定期的な利用者の獲得のため、地域や事業者と連携した取り組みを検討していく。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	利用者数、収支率の目標を達成できなかったものの、公共交通ガイドマップを配布して利用促進を図っている点については評価できる。 人件費高騰など外的要因が含まれるものについては改善が困難となる可能性が高いが、利用者数の増加、収支率の改善に向けた取り組みを行うことを期待したい。 第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)を今後の検討の参考としていただきたい。 ・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。 ・生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。				

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和6年12月20日

協議会名： 山武市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
ちばフラワーバス(株)	山武市基幹バス 系統：さんぶの森元気館 ～蓮沼海浜公園 (往路34.6km 復路34.6km) 平日7便 土日祝日6便	前回第三者評価の反映状況	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	目標① 公共交通網の満足度を45.0%以上に向上させる。 【満足度】 41.0%	改善検討① 【基幹バス】 ・新たな利用者を確保するため、利用者ニーズの把握と共に、引き続き子どもたちを中心に公共交通に対する興味・関心を醸成する取り組みを検討する。 【乗合タクシー】 ・利用者ニーズを反映し、更なる利便性の向上に務める。 改善検討② 令和5年度に策定した地域公共交通計画に基づき、引き続き事業の実施・検討を進める。
房総自動車(有)	山武市乗合タクシー (成東、山武、蓮沼・松尾)	①住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。 →地域公共交通計画へ、「地域との連携による親しみやすい地域公共交通サービスの提供」を目標として位置付け、各種施策を実施。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	目標② 基幹バスの1日当たり利用者数を134人以上に増加させる。 【利用者数】 135.5人/日	
株両総	山武市乗合タクシー (成東、山武、蓮沼・松尾)	②定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。 →定量的な数値目標設定を継続し、実施施策については適宜地域公共交通活性化協議会において情報共有を図る。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	目標③ 乗合タクシーの1日当たり利用者数を131人以上に増加させる。 【利用者数】 83.4人/日	
(有)松尾タクシー	山武市乗合タクシー (成東、山武、蓮沼・松尾)		B 事業が計画に位置づけられなかったとおり実施されていない点があった。	【目標未達成の要因】 基幹バスは新型コロナウイルス感染拡大以前の水準を上回り、過去最高を達成した。一方、乗合タクシーは引き続き対前年度比マイナスとなった。令和4年と令和5年に実施した乗合タクシーの運賃値上げに伴い、停留所付近の住民は可能な限りバスを利用するよう生活様式の変化が生じたものと考えられる。	
地方運輸局等における二次評価結果（関東運輸局）	一部目標は達成することができなかったが、前回の第三者評価委員会での助言を施策に反映している点は評価できる。利用者ニーズの把握に努めて利用者の確保や利便性の向上につながることを期待したい。第三者評価委員会における有識者からの助言（下記）を今後の検討の参考としていただきたい。 ・乗車人数が目標を達成されたことは素晴らしい。 ・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。 ・生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。				

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年12月17日

協議会名: 大網白里市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
千葉中央バス(株)	増穂地区コミュニティバス 系統: 中部コミュニティセンター ～中部コミュニティセンター (24.3km) 運行回数: 8回/日 運賃: 200円	住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたいとの助言を受けたため、白里地区コミュニティバスについては、地区内にあったスーパーの閉店による地区内住民への買物支援の需要を考慮し、隣接地区にあるスーパーにバス停留所を設置した。	A 事業が計画に位置付けられたとおり適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 【目標】 1便平均 8.5人 1日平均 68人 年間 24,820人 【実績】 1便平均 8.6人 1日平均 69.5人 年間 25,366人 分析: ICカードによる運賃支払いや回数券の導入など、利便性向上の取組を実施し、市広報紙やHPIにより継続的に周知活動を行ってきたことが、少しずつ利用者の増加に繋がっていると考える。	・運賃収入以外の収入を確保するため、引き続きバス車両への有料広告掲載を行っていく。 ・回数乗車券をPRし、利用促進を図る。 ・アンケートや市民要望等から市民ニーズの把握に努め、引き続き運行計画の最適化を図っていく。
秋葉タクシー(有)	白里地区コミュニティバス 系統: 白里公民館～大網白里市役所(22.6km) 運行回数: 6回/日 運賃 白里地区⇄大網市街地: 500円 白里地区(大網市街地)⇄カスミ: 300円 白里地区内、大網市街地内の乗降: 200円		A 事業が計画に位置付けられたとおり適切に実施された。	C 事業が計画に位置付けられた目標を達成出来なかった。 【目標】 1便平均 2.5人 1日平均 12.5人 年間 3,037人 【実績】 1便平均 2.0人 1日平均 11.6人 年間 2,810人 分析: 目標値は達成できなかったが、スーパーにバス停を新設したことにより、利用者が増加した。	・運賃収入以外の収入を確保するため、引き続きバス車両への有料広告掲載を行っていく。 ・回数乗車券をPRし、利用促進を図る。 ・アンケートや市民要望等から市民ニーズの把握に努め、引き続き運行計画の最適化を図っていく。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	一部目標は未達成となったが、地域住民の需要を考慮して停留所の見直しに取り組んだことは評価できる。回収乗車券のPR活動やニーズの把握により、運行効率化に取り組むことを期待したい。第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)を今後の検討の参考としていただきたい。 ・デマンド交通で乗車人数が目標を達成されたことは素晴らしい。 ・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。 ・生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。				

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月31日

協議会名: 東金市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
東金タクシー有限公司 南総タクシー株式会社 小川タクシー有限公司 仲田タクシー有限公司	デマンド交通(東金市乗合タクシー)市内全域	○予約キャンセルの連絡をしてこない常習者に適宜電話にて口頭注意を実施した。 ○利用者が希望する時間に予約が取れなくても、別の時間帯を提案することで、利用に繋げる取組みを実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 【目標数値】 1日当たり利用者数 50人 (前回目標 45人) 【結果】 1日当たりの利用者数 36.12人 (前回実績33.23人)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりデマンド交通自体の需要が一時的に低下している。需要が回復した際に効率的な運行が可能になるよう予約キャンセル常習者への口頭注意等を随時実施し、システムの改修などにより、当日予約キャンセル数や予約不成立件数の削減に努めていく。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	目標は未達成となったが、予約が取れない場合であっても別の時間帯を提案するといった、効率的な運行に取り組んでいることは評価する。第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)を今後の検討の参考としていただきたい。 ・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。 ・生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。				

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 7年 1月31日

協議会名: 市原市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
小湊鉄道株	①鶴舞バスターミナル～湯原～里見駅(10km) 運行回数:2.5回/日 運賃:390円	関係者と協議のもと加茂学園の児童生徒の通学に対応したダイヤ及びルートにより運行を行うとともに、運行内容の見直しを行った際には学校と連携して周知を図っている。 また、市ホームページで高速バスや小湊鐵道線との接続について周知し利用促進を図った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 加茂学園の児童生徒の通学手段の確保に寄与した。 コロナ流行前の直近の実績(R元年度)は、51.04人であったが、コロナ禍による影響を受けて近年の利用者数は低迷した状況が続いていた。こうした状況を踏まえ、本計画の目標値は直近の実績値の維持とし、「1日の平均利用者38.27人」と設定。当該年度の実績は、コロナウイルス感染症拡大に伴う行動制限が緩和されたことや学校の休校が実施されなかったため、「1日平均利用者42.29人」であった。	本バス路線のルート及びダイヤについて、適宜関係者と協議し、運行内容の改善及び利用促進を図っていく。
	②鶴舞バスターミナル～久保～里見駅(12km) 運行回数:2.5回/日 運賃:390円				
	③鶴舞バスターミナル～高滝駅～里見駅(8km) 運行回数0.5回/日 運賃:390円				
小湊タクシー株	デマンド型交通「戸田地区」 営業区域:戸田地区 運行日:月・水・木曜 運賃:500円	各地区が共通して地域内の各世帯にリーフレットを配布し利用促進を図るとともに、運営会議を開催し利用者ニーズの把握に努めた。 市津地区においては運行区域拡大を行った。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 交通空白地域である3地区において、デマンド型乗合タクシーの運行を維持することにより、高齢化社会における交通弱者等の生活交通の確保を図った。 戸田地区は目標「1運行あたりの平均乗車人数1.15人/回」に対して、「1.27人/回」であった。 養老地区は目標「1運行あたりの平均乗車人数1.25人/回」に対して「1.1人/回」であった。 市津地区は目標「1運行あたりの平均乗車人数1.3人/回」に対して、「1.23人/回」であった。	地域住民や交通事業者の参画のもと定期的に運営会議を開催し、運行状況や運行上の課題等を検証し、運行内容の改善及び利用促進を図っていく。
	デマンド型交通「養老地区」 営業区域:養老地区 運行日:火・金曜 運賃:520円				
(有)潤井戸タクシー	デマンド型交通「市津地区」 営業区域:市津地区 運行日:月～金 運賃:500円～1,500円				
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	一部目標は未達成となったが、関係者との協議や学校と連携した利用者への周知に取り組むとともに、デマンド交通の運行区域を拡大して利便性向上に努めている点については評価できる。 引き続き関係者と協議を行い、運行内容の改善や利用促進に向けた取り組みを行うことを期待する。 第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)を今後の検討の参考としていただきたい。 ・乗車人数について目標を達成されたものがあることは素晴らしい。 ・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。 ・生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。				

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年12月20日

協議会名: 長南町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
ゆたか自動車(株)	長南町全域でドア・ツー・ドア方式	前年度の評価結果を踏まえ、事業を実施している。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された	C ・目標利用者数5,000人に対し実績3,924人(▲1,076人) ・目標乗合率1.2%に対し実績1.04%	長南町地域公共交通計画に基づき、デマンド乗合タクシーの利便性向上を図る中で、乗合率の向上を目指す。
(有)長南タクシー	長南町全域でドア・ツー・ドア方式	前年度の評価結果を踏まえ、事業を実施している。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された	B ・目標利用者数5,000人に対し実績5,782人(+782人) ・目標乗合率1.2%に対し実績1.13%	長南町地域公共交通計画に基づき、デマンド乗合タクシーの利便性向上を図る中で、乗合率の向上を目指す。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	一部目標が未達成となったが、前年度の評価結果を踏まえ事業に取り組んでいることは評価できる。 引き続き利便性向上に向けて取り組みを行い、乗合率の向上につながることを期待する。 第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)を今後の検討の参考としていただきたい。 ・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。 ・生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。				

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年 12月24日

協議会名: 茂原市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
小湊鐵道株式会社	<p>市民バス「モバス」 南部(鶴枝)コース 系統: 茂原駅～三ヶ谷神社～茂原駅(20.9km) 運行回数: 5便/日</p> <p>南部(五郷)コース 系統: 茂原駅～石神集会所～茂原駅(12.1km) 運行回数: 4便/日</p> <p>運賃: 200円(障害者手帳所持者、その介助者、運転経歴証明書所持者、小学生は100円)</p>	<p>・引き続き利用促進の取り組みを進めていただきたいと評価結果を受け、「茂原市交通マップ」を市内の各公共施設や鉄道駅等に配布するとともに、商業施設にご協力いただき、入口付近に配置することで、さらなる周知を図った。また、広報「もばら」に市民バス「モバス」の利用方法等に関する記事を掲載し周知を図った。</p> <p>・利用促進のため市民バス「モバス」の各コースの乗降者数等の分析をし、状況把握に努めた。</p>	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>C</p> <p>事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。 目標: 利用者数100人/日以上 実績: 73.8人/日 分析: 前事業年度より増加したものの、目標値には程遠く、利用者を増やすため利用者ニーズの把握に努めたい。</p>	<p>・各コースの利用状況を把握し、現コースの変更や新規コースの創設について検討する。 ・運賃収入以外の収入源の確保のため、引き続き市民バスの車体等に、有料広告を募集し掲載を行う。 ・市民バス及びデマンド交通共通の回数乗車券の周知に努め、公共交通の利用促進を図る。 ・転入者に交通マップの配布を行い、公共交通の周知を図る。</p>
都自動車株式会社	<p>デマンド交通「ふれあい」 運行区域: 市内北西エリア 運行日: 月・水・金曜(祝休日・年末年始運休) 運行本数: 8便/日(8時、9時、10時、11時、13時、14時、15時、16時) 運賃: 400円(障害者手帳所持者、その介助者、運転経歴証明書所持者、小学生は200円)</p>	<p>・引き続き利用促進の取り組みを進めていただきたいと評価結果を受け、「茂原市交通マップ」を市内の各公共施設や鉄道駅等に配布するとともに、商業施設にご協力いただき、入口付近に配置することで、さらなる周知を図った。また、広報「もばら」にデマンド交通「ふれあい」の利用方法等に関する記事を掲載し周知を図った。</p> <p>・利用促進のため、デマンド交通「ふれあい」利用者の地区別割合や行き先等の分析をし、状況把握に努めた。</p>	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>B</p> <p>事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 目標: 利用登録者数950人以上 実績: 902人 分析: 周知が行き届き、順調に伸びているが、目標値には及ばなかった。 目標: 利用者数10人/日以上 実績: 11.3人/日 分析: 通院、買い物等の移動手段として利用されており、目標値を達成した。</p>	<p>・利用需要の高い高齢者を中心とした利用促進策を講じて、利用者の拡大に努める。 ・さらなる利用促進を図るため、エリア拡大について検討する。 ・市民バス及びデマンド交通共通の回数乗車券の周知に努め、公共交通の利用促進を図る。 ・転入者に交通マップの配布を行い、公共交通の周知を図る。 ・エリア内の住民にデマンド交通の利用案内を配布し、周知を図る。</p>
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	<p>一部目標は未達成となったが、昨年度に引き続き利用促進の取組や周知を行い、デマンド交通で利用者数の目標を達成したことを評価する。引き続き、周知活動を通して住民への利用促進を行うことを期待する。 第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)を今後の検討の参考としていただきたい。 ・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。 ・生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。</p>					

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月30日

協議会名: 勝浦市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
小湊鉄道株式会社	デマンドタクシー (上野地区、大沢地区、浜行川地区、興津地区の一部、小松野地区、大楠地区及び松部・串浜地区の一部)	<p>○市広報誌にデマンドタクシーのご案内記事を掲載し、周知及び利用促進を図った。</p> <p>○利用促進のため、デマンドタクシーの乗降者数等の分析をし、状況把握に努めた。</p> <p>○運行事業者にアルコール消毒液を配布し、車両や運転手の消毒や換気を徹底するなど感染症対策を実施し利用者の安全・安心を確保した。</p>	A 事業は計画どおり適切に実施された	<p>【目標】 利用者数 4,395人 (1日当たり 15人/日)</p> <p>【実績】 利用者数 4,332人 ※対前年度比+119人 (1日当たり 14.8/日) ※対前年度比+0.4人)</p> <p>【分析】 新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症へ移行されたことに伴い、外出等の行動制限がなくなり、利用者数は徐々に回復傾向にあるものの、目標値には達成しなかった。</p>	<p>○今後も広報やHP等を活用し、利用促進に向けた継続的な啓発等を実施する。</p> <p>○地域公共交通計画に基づき、デマンドタクシーの運行サービスの見直しを検討するとともに利便性向上を図る。</p> <p>○事業者と連携し、利用者実態動向とニーズを把握し、利用促進を図る。</p> <p>○利用促進を図るため地域公共交通計画に定める各種事業に取り組んでいく。</p>

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	<p>計画に位置づけた目標を達成することはできなかったが、デマンドタクシー乗降者数等の分析を行い、状況把握に取り組んでいることは評価できる。引き続き広報やホームページを活用した利用促進に向けた取り組みや、多様な関係者と連携し、利便性の向上に取り組むことを期待する。</p> <p>第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)を今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入している交通によって市民(町民、村民)の活動がどのように変わってきたのか、必要に応じて副次的な効果を分析することも検討していただきたい。 ・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。 ・生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。
-------------------------	---

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月28日

協議会名: 鴨川市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
日東交通株式会社	1. 北ルート 金山ダム～天津駅前～内浦山県民の森	地域公共交通計画に基づき、令和6年4月からコミュニティバスの再編を図った。また、計画に定めた目標の達成を目指し、コミュニティバス循環線の説明会をはじめ、パンフレットの作成・配布、モビリティ・マネジメントの実施及び小学生を対象とした「公共交通乗り方教室」の開催等、各種利用促進策に取り組んだ。	A 事業は計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	C 利用目標 21,426人/年に対し、実績では16,944人/年で目標を達成にはならなかった。 理由:再編により令和6年4月から運行のコミュニティバス循環線が、令和6年3月まで運行していた北・南・清澄ルートに比べ、キロ程が少なく利用者も減少したこと、また、再編により運行しているデマンド型乗合タクシー「チョイソコかもがわ」が実証運行期間中で、数字に反映していないため。 <参考> ■R5年10月～R6年3月 1. 北ルート 6,956人 2. 南ルート 5,292人 3. 清澄ルート 1,124人 ■R6年4月～R6年9月 4. 循環・短縮系統 3,572人	本市にとって有効かつ持続可能な公共交通網に再編するため、コミュニティバスについては、令和6年4月から、鴨川地域の運行区間を再編し循環線を行っていた区域型乗合タクシーを令和7年4月から本格運行の実施に向けて進めている。再編後の運行内容について、利用者等への周知に努めるとともに、利用促進を図るため地域公共交通計画に定める各種事業に取り組んでいく。さらには、利用状況の把握・分析に努め、必要に応じて適切な運行内容を検討する。
	2. 北ルート 金山ダム～鴨川市役所～鴨川駅西口				
	3. 南ルート 曾呂終点～鴨川駅西口～鴨川駅前				
	4. 南ルート 曾呂終点～畑青年館～鴨川駅西口				
	5. 循環系統 金山ダム～鴨川駅西口～福祉センター前				
	6. 短縮系統 金山ダム～鴨川市役所～鴨川駅西口				

<p>地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)</p>	<p>目標を達成することはできなかったが、説明会やモビリティマネジメントにより周知を行ったこと、コミュニティバスを再編し運行効率化を図ったことについては評価できる。 再編後の周知や利用状況の把握を行い、利用者数の増加につながることを期待する。 第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)を今後の検討の参考としていただきたい。 ・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。 ・生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。</p>
--------------------------------	---

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月27日

協議会名: 御宿町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
小湊鉄道株式会社	町内全域をカバーする乗合運行(デマンド型)を地域内フィーダー系統確保維持事業として、平成26年10月1日から実施。ルートを定めず、運行エリア内を乗合で移動するもので、事前予約型・町内全域乗合タクシーとして運行している。	乗合運行(デマンド型)について、利用を促進するため、広報等で事業の周知を行ったこともあって、利用者数は大幅に伸びた。	A (事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された)	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 ※目標利用者5,400人(15人×360日)に対し実績6,157人(+757人) ※目標収入1,620,000円(300円×5,400人)に対し実績1,778,500円(158,500円)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者には、乗合運行という特性を理解いただき、タクシーサービスも併用するなかで、生活に密着した満足度の高いサービスを実施していく。 ・利用者が増加傾向にあるため、運行調整で対応できない場合は車両増設を検討する必要がある。 ・利便性向上に向けたキャッシュレス決済等にも対応した環境を段階的に整える必要がある。(DX)
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	<p>利用者への周知に取り組み、目標を達成したことを評価する。 引き続き周知活動や、利便性向上に向けた取り組みを行うことを期待する。 第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)を今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通で乗車人数が目標を達成されたことは素晴らしい。 ・利用者が増加した要因(外出の増加、自家用車利用からの転換、路線バスからの転換等)を分析し、把握することも検討していただきたい。 ・特定少数の利用者が繰り返し利用しているのではなく、導入の目的を達成しているかを検証するため、延べ乗車人数以外のデータも確認することなども検討していただきたい。 				

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年12月20日

協議会名: 横芝光町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
有限会社横芝タクシー	運行系統名:横芝光町デマンドタクシー 営業区域:町内全域 運行日:月曜～土曜(日、祝日運休) 運行時間帯:7時～18時 運賃:300円(運転経歴証明書、障害者手帳等を提示の場合150円)	【前回の評価結果】 満足度の目標を達成した点は評価できるが、利用者数の目標は未達成となった。前年度よりも利用者数は増加していることから、より一層の地域の実情に即した交通サービスの提供を進めていただきたい。 【反映状況】 令和4年3月策定の地域公共交通計画により令和4年12月から大きな再編を行い、循環バスについては、利用者数が少なかった北側ルートを廃止し、デマンド交通(乗合タクシー)の北側専用車両を1台増車した。南側ルートは、通勤・通学の鉄道への乗継を考慮したダイヤにするとともに、交通系ICカードの利用を開始し、また利用者数が少なかった一部ルートを廃止することで効率化を図った町内バスとして、町内2ルート各14便で運行を開始した。	A ●計画に位置付けられた事業は適切に実施されている。 ・利用者からの意見や利用状況を踏まえ、必要に応じ改善を図り、来年度以降も継続する。	【利便性の高い地域公共交通ネットワークの維持に関する目標】 目標である乗合タクシー利用率は令和6年度(令和5年10月～令和6年9月)において、6.8%で目標を達成している。年間利用者数については、15,963人であり、現状値から比較して増加しているが、目標値は達成していない状況である。利用者の乗合タクシーに対する不満の割合は、総合計画策定時のアンケート等調査により値を算出していることから、現状値を把握することができていないため評価しない。乗合タクシーの予約不成立数は、518件となり目標を達成した。 【安心・安全に移動できる交通環境の提供に関する目標】 バリアフリー車両の導入数を現状値0台から4台へすることが目標値であるが、現状0台であり、目標値を達成していない。 【将来に渡って持続可能な公共交通サービスの提供に関する目標】 乗合タクシーの収支率を現状値9.7%から12.0%へすることが目標値であるが、R6年度(令和5年10月～令和6年9月)は10.7%となり増加はしているが、目標値は達成していない。	令和4年3月策定の地域公共交通計画に基づき、令和4年12月から大きな再編を行ったが、より多くの利用者が希望の時間に乗車できるよう見直しを検討していくことが必要である。また、予約不成立の背景には、特定の利用者が仮予約をしてしまっていることや、運行ルートが噛み合わず利用できないケースが考えられるため、予約キャンセルが多い利用者への対応や、運行ルートを配車ごとに構築することによる乗合率の増加を図っていくことが必要である。また、利用者数の増加を目指し収支率の改善を図っていく。
房総自動車有限会社	運行系統名:横芝光町デマンドタクシー 営業区域:町内全域 運行日:月曜～土曜(日、祝日運休) 運行時間帯:7時～18時 運賃:300円(運転経歴証明書、障害者手帳等を提示の場合150円)	【前回の評価結果】 満足度の目標を達成した点は評価できるが、利用者数の目標は未達成となった。前年度よりも利用者数は増加していることから、より一層の地域の実情に即した交通サービスの提供を進めていただきたい。 【反映状況】 令和4年3月策定の地域公共交通計画により令和4年12月から大きな再編を行い、循環バスについては、利用者数が少なかった北側ルートを廃止し、デマンド交通(乗合タクシー)の北側専用車両を1台増車した。南側ルートは、通勤・通学の鉄道への乗継を考慮したダイヤにするとともに、交通系ICカードの利用を開始し、また利用者数が少なかった一部ルートを廃止することで効率化を図った町内バスとして、町内2ルート各14便で運行を開始した。	A ●計画に位置付けられた事業は適切に実施されている。 ・利用者からの意見や利用状況を踏まえ、必要に応じ改善を図り、来年度以降も継続する。	【利便性の高い地域公共交通ネットワークの維持に関する目標】 目標である乗合タクシー利用率は令和6年度(令和5年10月～令和6年9月)において、6.8%で目標を達成している。年間利用者数については、15,963人であり、現状値から比較して増加しているが、目標値は達成していない状況である。利用者の乗合タクシーに対する不満の割合は、総合計画策定時のアンケート等調査により値を算出していることから、現状値を把握することができていないため評価しない。乗合タクシーの予約不成立数は、518件となり目標を達成した。 【安心・安全に移動できる交通環境の提供に関する目標】 バリアフリー車両の導入数を現状値0台から4台へすることが目標値であるが、現状0台であり、目標値を達成していない。 【将来に渡って持続可能な公共交通サービスの提供に関する目標】 乗合タクシーの収支率を現状値9.7%から12.0%へすることが目標値であるが、R6年度(令和5年10月～令和6年9月)は10.7%となり増加はしているが、目標値は達成していない。	令和4年3月策定の地域公共交通計画に基づき、令和4年12月から大きな再編を行ったが、より多くの利用者が希望の時間に乗車できるよう見直しを検討していくことが必要である。また、予約不成立の背景には、特定の利用者が仮予約をしてしまっていることや、運行ルートが噛み合わず利用できないケースが考えられるため、予約キャンセルが多い利用者への対応や、運行ルートを配車ごとに構築することによる乗合率の増加を図っていくことが必要である。また、利用者数の増加を目指し収支率の改善を図っていく。
株式会社両総	運行系統名:横芝光町デマンドタクシー 営業区域:町内全域 運行日:月曜～土曜(日、祝日運休) 運行時間帯:7時～18時 運賃:300円(運転経歴証明書、障害者手帳等を提示の場合150円)	【前回の評価結果】 満足度の目標を達成した点は評価できるが、利用者数の目標は未達成となった。前年度よりも利用者数は増加していることから、より一層の地域の実情に即した交通サービスの提供を進めていただきたい。 【反映状況】 令和4年3月策定の地域公共交通計画により令和4年12月から大きな再編を行い、循環バスについては、利用者数が少なかった北側ルートを廃止し、デマンド交通(乗合タクシー)の北側専用車両を1台増車した。南側ルートは、通勤・通学の鉄道への乗継を考慮したダイヤにするとともに、交通系ICカードの利用を開始し、また利用者数が少なかった一部ルートを廃止することで効率化を図った町内バスとして、町内2ルート各14便で運行を開始した。	A ●計画に位置付けられた事業は適切に実施されている。 ・利用者からの意見や利用状況を踏まえ、必要に応じ改善を図り、来年度以降も継続する。	【利便性の高い地域公共交通ネットワークの維持に関する目標】 目標である乗合タクシー利用率は令和6年度(令和5年10月～令和6年9月)において、6.8%で目標を達成している。年間利用者数については、15,963人であり、現状値から比較して増加しているが、目標値は達成していない状況である。利用者の乗合タクシーに対する不満の割合は、総合計画策定時のアンケート等調査により値を算出していることから、現状値を把握することができていないため評価しない。乗合タクシーの予約不成立数は、518件となり目標を達成した。 【安心・安全に移動できる交通環境の提供に関する目標】 バリアフリー車両の導入数を現状値0台から4台へすることが目標値であるが、現状0台であり、目標値を達成していない。 【将来に渡って持続可能な公共交通サービスの提供に関する目標】 乗合タクシーの収支率を現状値9.7%から12.0%へすることが目標値であるが、R6年度(令和5年10月～令和6年9月)は10.7%となり増加はしているが、目標値は達成していない。	令和4年3月策定の地域公共交通計画に基づき、令和4年12月から大きな再編を行ったが、より多くの利用者が希望の時間に乗車できるよう見直しを検討していくことが必要である。また、予約不成立の背景には、特定の利用者が仮予約をしてしまっていることや、運行ルートが噛み合わず利用できないケースが考えられるため、予約キャンセルが多い利用者への対応や、運行ルートを配車ごとに構築することによる乗合率の増加を図っていくことが必要である。また、利用者数の増加を目指し収支率の改善を図っていく。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	達成することができなかった目標があるため、利用者からの意見や利用状況を把握し、利便性の向上に向けた取組に期待する。 第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)を今後の検討の参考としていただきたい。 ・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。 ・生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。				

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月17日

協議会名: 君津市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
大新東株式会社 君津営業所	君津市デマンドタクシー予約便 (小櫃・上総地区)	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシを作成し、自治会に回覧するなど、デマンドタクシーの利用促進を図った。 ・市広報誌(10月号)で公共交通に関する特集を組み、公共交通への転換を促した。 ・令和6年度における目標値を関係者と共有し、目標達成に向け運行効率の向上に努めるよう相互理解を図った。 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】 利用者数: 20,000人 収支率: 25.0%</p> <p>【実績】 利用者数: 12,178人 収支率: 7.7%</p> <p>【分析】 デマンドタクシーの利用者数は、回復傾向(前年度比+467人)にあり、運賃収入も増加しているが、収支率を大きく改善できるほどの増加ではなく、その一方、経費については前年度と概ね同額であるため、収支率は低迷している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・君津市地域公共交通計画に基づき、デマンドタクシーの効率的な運行に向け、運行方法等を検討するとともに乗合交通の特性を周知し、一人でも多く利用できるようにする。 ・長期的な視点で、交通事業者と連携し、運行の効率化を図るとともに、受益者負担の見直しを検討する。

地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	<p>設定した目標値には及ばなかったものの、デマンドタクシーの利用促進に取り組んだことは評価できる。引き続き、利用促進や運行効率の向上に向けた取組に期待したい。</p> <p>第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)を今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。 ・生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。
---------------------------------	--

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和6年12月26日

協議会名： 八街市地域公共交通協議会
 評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
ちばグリーンバス株式会社	コミュニティバス「ふれあいバス」 系統： 北コース（朝B便除く）（30.9km） ※系統kmはコースにおける最小値 運行回数： 8回／日（北・朝B便除く） 運賃：200円	住民を巻き込み、自分事化する具体的な仕組みについては、まだ検討中である。 現在の公共交通の状況として、路線の廃止危機や運転手不足といった課題があり、住民が積極的に利用しないと、成り立たなくなっている状況を周知する必要があると考えている。	A	指標①ふれあいバス年間利用者数を86,000人 実績：94,562人 前年度年間利用者数90,132人と比較し4,430人の増加であり、目標値を達成することができた。新型コロナウイルス感染症の影響が収束し、徐々に利用者が増加しているものと推測される。	年間利用者数は、令和3年10月に実施したふれあいバスの運行ルートの再編及び運行ダイヤの見直しで定着し、目標値を達成した。
ちばフラワーバス株式会社	コミュニティバス「ふれあいバス」 系統： 市街地循環コース（13.9km） 北コース朝便②のみ（7.2km） 西コース（40.9km） 南コース（32.3km） ※系統kmはコースにおける最小値 運行回数： 12回／日（市街地） 1回／日（北・朝B便のみ） 8回／日（西） 9回／日（南） 運賃：200円 ※南コースについては、補助対象外であるが、包括的な目標設定をしているため、ふれあいバス全体としての評価を記載しています。	また、定量的な目標の事業者との共有については、計画で定めている年間利用者数は達成できている。 しかし、綿密に事業者と共有は図れていないところもあるので、今後検討していきたい。	A	指標②公共交通に係る市の年間財政負担額を52,201千円 実績：88,713千円 指標の財政負担額を36,512千円上回った。 高齢者外出支援タクシーについては、9月30日で制度を終了し、10月2日より、デマンド型乗合タクシー実証運行事業を開始した。 なお、令和5年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、運行継続が困難となった民間バス路線である「八街循環線」へ4,000千円の補助を実施した。	少しずつであるが、新型コロナウイルス感染症の影響前の水準に戻りつつあるので、更なる利用促進に努めていきたい。 また、令和5年10月2日より八街市デマンド型乗合タクシー実証運行事業を開始したことに伴う、八街市全体の公共交通機関の影響について、現在調査中である八街市地域公共交通計画策定に係る基礎調査の結果等を活用し、運行ルートや運行ダイヤの調査・研究を進めていく。
地方運輸局等における二次評価結果（関東運輸局）	公的負担額の目標は達成できなかったが、利用者数の目標値を達成することができたことを評価する。 交通事業者等、関係者と連携した取組に期待したい。 第三者評価委員会における有識者からの助言（下記）を今後の検討の参考としていただきたい。 ・乗車人数が目標を達成されたことは素晴らしい。 ・特定少数の利用者が繰り返し利用しているのではなく、導入の目的を達成しているかを検証するため、延べ乗車人数以外のデータも確認することなども検討していただきたい。 ・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。				

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月23日

協議会名: 富津市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
NPO法人わだち	竹岡地区交通空白地有償運送	昨年度の達成状況を継続できるよう、安定的な運行を行った。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 計画に位置付けられた目標を達成することができた。 (利用者数の目標値900人に対し実績1,042人となり、1運行あたりの利用者数は3.72人であった。また、昨年度と比べ利用者数、1運行あたりの利用者数、共に増えていることから、A評価とした。)	今後も利用者動向に注視しつつ、事業者とともに必要な見直しを検討する。 また、地域の医療・商業施設と連携し、より利便性の高い運行方法を検討する。
NPO法人峰上交通	峰上地区交通空白地有償運送	今回が計画認定初年度のため、なし。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 計画に位置付けられた目標を達成することができた。 (利用者数の目標値350人に対し実績540人となっていることから、A評価とした。)	今後も利用者動向に注視しつつ、事業者とともに必要な見直しを検討する。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	<p>昨年度に引き続き設定した目標値を全て達成できたことを評価する。 引き続き、利用者の状況を把握し、事業者とも連携して必要な取り組みを行っていくことを期待する。 第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)を今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗車人数が目標を達成されたことは素晴らしい。 ・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。 ・特定少数の利用者が繰り返し利用しているのではなく、導入の目的を達成しているかを検証するため、延べ乗車人数以外のデータも確認することなども検討していただきたい。 				

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月15日

協議会名: 木更津市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
富来田地区まちづくり協議会	デマンド型交通「ふくちゃんバス」 営業区域:富来田地区 運行日:水曜、金曜 運行時間帯:午前9時から午後4時 運賃:1回の乗車毎に片道500円(富来田地区内、尾張屋、おどや)、750円(ほたるの眼科)、1,000円(萩原病院)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用促進を進めるため、地区社会福祉協議会主催のコミュニティカフェにて、地域住民に対して利用方法の説明等を行い、利用登録者を19名増やすことができた。 ・住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していたが、評価結果を受け、ドライバー募集のための声掛けを強化した結果、新規に2名のドライバーを確保することができた。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	【目標】 ①利用者について、 ・延べ6人/日 ・延べ50人/月 ②令和5年度実績(50.0%)と比較して、収支率1%改善。 【実績】 ①利用者について、 【令和6年度】 ・延べ 6.2人/日 ・延べ65.3人/月 【令和5年度】 ・延べ 5.8人/日 ・延べ53.7人/月 ②収支率 【令和6年度】45.5% 【令和5年度】50.0% ➡4.5%減 【分析】 ・利用者数および運行便数は増となったが、個別利用が増えたものであり、相乗り率が下がったことが収支率の減の要因であると考えられる。 ・今後は利用者の相乗り率を高めることが必要であるとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・利便性及び収益の向上を図るために、引き続き、利用者の需要の変化に合わせて目的地の見直しを行う必要がある。 ・収支率の改善のため今後も乗合運行の実施に努め、効率化を図る必要がある。

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	収支率の目標は未達成となったが、新規ドライバーの確保に加え、説明会等の周知活動に取り組んだことを評価する。引き続き利便性向上や収支率改善に向けて運行の効率化を行っていくことを期待する。 第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)を今後の検討の参考としていただきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・乗車人数が目標を達成されたことは素晴らしい。 ・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。 ・生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。
-------------------------	--

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 7年 1月 28日

協議会名: 富里市地域公共交通会議
 評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
京成タクシー成田株式会社	富里市デマンド交通キャロリン号(市内全域及び一部市外)366日運行	多くの利用者から要望を頂いていたデマンド交通(キャロリン号)のWeb予約を、令和6年7月から開始した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	A 【目標】利用者数:10,453人以上 【実績】利用者数:51,802人 【分析】市内公共交通の利便性向上と更なる制度周知を目的に、公共交通マップ「まるっと富里」を作成し、商業施設、公共施設に配架したほか、市民を対象にデマンド交通の利用方法など説明する出前講座を開催するなど利用促進を図ることができた。 ・デマンド交通の予約方法は電話だけであったが、令和6年7月にWeb予約を開始したことで、利用者が増加した。	利用者ニーズや運行状況を踏まえ、効率的な運行に努めるとともに更なる利便性の向上を図る。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	デマンド交通のweb予約を開始し、利用者利便の向上により利用者数が増加していることを評価する。引き続き利用者ニーズの把握や運行の効率化を行い、利便性の向上に期待したい。第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)を今後の検討の参考としていただきたい。 ・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。 ・生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。				

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月21日

協議会名: 匝瑳市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
千葉交通株式会社	匝瑳市市内循環バス 系統: 豊栄・匝瑳循環2便 計画運行回数: 1回/日 運賃: 200円(割引運賃: 100円)	「住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していたきたい。」「定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。」との評価結果を受けて、公共交通ニュースにおいて、デマンド型交通利用者の声の掲載や令和5年度実績を掲載し、市民に周知した。また、デマンド型交通と市内循環バスについて、定期的に住民代表を含めた交通事業関係者等と協議を重ねて、情報共有に努めた。今後は、引き続き周知を図りつつ、協議会で出た意見をもとに各種公共交通の実態の把握・分析を進めていく。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった。 【目標】 収支率: 8.9% 平均利用者数: 25人/日 運行回数: 1,172回 【実績】 収支率: 3.1% 平均利用者数: 13人/日 運行回数: 1,168回 【分析】 中学生の登下校の利用と路線バスの重複ルートを選んだことによる利用が減ったため。ただし、民業と分離し、競争を避けることで、前年度比較で29,483人路線バスの利用が増えている。台風で1日運休した。	乗降調査を基に利用者が減った停留所の要因を把握する。また、乗り方教室の開催やイベントでのバスの展示と利用案内や時刻表の配布を行い、より多くの方にバスの周知を図る。
千葉交通株式会社	匝瑳市市内循環バス 系統: 豊栄・匝瑳循環3便・5便 計画運行回数: 各便1回/日 運賃: 200円(割引運賃: 100円)		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。		
千葉交通株式会社	匝瑳市市内循環バス 系統: 豊栄・匝瑳循環4便 計画運行回数: 1回/日 運賃: 200円(割引運賃: 100円)		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。		

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
千葉交通株式会社	匝瑳市市内循環バス 系統: 椿海・豊和循環1便 計画運行回数: 1回/日 運賃: 200円(割引運賃: 100円)	住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。との評価結果を受けて、公共交通ニュースにおいて、デマンド型交通の利用者の声の掲載や令和5年度実績を掲載し、市民に周知した。また、デマンド型交通と市内循環バスについて、定期的に住民代表を含めた交通事業関係者等と協議を重ねて、情報共有に努めた。今後は、引き続き周知を図りつつ、協議会で出た意見をもとに各種公共交通の実態の把握・分析を進めていく。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 【目標】 収支率: 8.0% 平均利用者数: 30人/日 運行回数: 1,758回 【実績】 収支率: 5.3% 平均利用者数: 30人/日 運行回数: 1,752回 【分析】 利用者数は目標値を達成しているが、計画と実績の人員費・保険料の差が大きく、またルート短縮したものの燃料費がほぼ横ばいで、収支率に差異が出たため。台風で1日運休した。	乗降調査を基に利用者が減った停留所の要因を把握する。また、乗り方教室の開催やイベントでバスの展示と利用案内や時刻表の配布を行い、より多くの方にバスの周知を図る。
千葉交通株式会社	匝瑳市市内循環バス 系統: 椿海・豊和循環2便 計画運行回数: 1回/日 運賃: 200円(割引運賃: 100円)		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。		
千葉交通株式会社	匝瑳市市内循環バス 系統: 椿海・豊和循環3便 計画運行回数: 1回/日 運賃: 200円(割引運賃: 100円)		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。		
千葉交通株式会社	匝瑳市市内循環バス 系統: 椿海・豊和循環4便 計画運行回数: 1回/日 運賃: 200円(割引運賃: 100円)		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。		
千葉交通株式会社	匝瑳市市内循環バス 系統: 椿海・豊和循環5便 計画運行回数: 1回/日 運賃: 200円(割引運賃: 100円)		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。		
千葉交通株式会社	匝瑳市市内循環バス 系統: 椿海・豊和循環6便 計画運行回数: 1回/日 運賃: 200円(割引運賃: 100円)		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。		

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
有限会社ササモト	デマンド型交通「チューリップ号」 区域：北部エリア 系統：国道126号以北の匝瑳市内 計画運行回数：8回/日 運賃：500円	住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。との評価結果を受けて、公共交通ニュースにおいて、デマンド型交通の利用者の声の掲載や令和5年度実績を掲載し、市民に周知した。また、デマンド型交通と市内循環バスについて、定期的に住民代表を含めた交通事業関係者等と協議を重ねて、情報共有に努めた。今後は、引き続き周知を図りつつ、協議会で出た意見をもとに各種公共交通の実態の把握・分析を進めていく。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 【目標】 収支率：13.8% 平均利用者数：9人/日 運行回数：2,344回 【実績】 収支率：17.3% 平均利用者数：8人/日 運行回数：1,977回 【分析】 75歳以上の一般タクシーの利用助成事業もあり、併用利用や利用券優先の方がいるため。令和5年度一般タクシー利用券交付人数870人。	公共交通ニュースやホームページで、デマンド型交通の利用が集中する時間帯や曜日の周知を行い、利用者が利用日時の選択をすることで、より多くの方が利用できるようにする。
有限会社ササモト	デマンド型交通「チューリップ号」 区域：南部エリア 系統：国道126号以南の匝瑳市内 計画運行回数：8回/日 運賃：500円	住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい。定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。との評価結果を受けて、公共交通ニュースにおいて、デマンド型交通の利用者の声の掲載や令和5年度実績を掲載し、市民に周知した。また、デマンド型交通と市内循環バスについて、定期的に住民代表を含めた交通事業関係者等と協議を重ねて、情報共有に努めた。今後は、引き続き周知を図りつつ、協議会で出た意見をもとに各種公共交通の実態の把握・分析を進めていく。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 【目標】 収支率：13.8% 平均利用者数：9人/日 運行回数：2,344回 【実績】 収支率：15.1% 平均利用者数：7人/日 運行回数：1,694回 【分析】 75歳以上の一般タクシーの利用助成事業もあり、併用利用や利用券優先の方がいるため。令和5年度一般タクシー利用券交付人数870人。	公共交通ニュースやホームページで、デマンド型交通の利用が集中する時間帯や曜日の周知を行い、利用者が利用日時の選択をすることで、より多くの方が利用できるようにする。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	一部目標は未達成となったが、周知活動に取り組むとともに、住民代表を含めて交通事業関係者等と情報共有を行ったことは評価できる。引き続き周知活動や、関係者等の協議を踏まえ、利用者利便の向上に取り組まれることを期待したい。 第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)を今後の検討の参考としていただきたい。 ・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。 ・生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。				

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和 7 年 1 月 16 日

協議会名: 南房総・館山地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
鏡浦自動車株式会社	デマンド型交通「チョイソコ南房総・館山」 営業区域:南房総市富山地区の一部、三芳地区、館山市館野地区の一部、九重地区の一部 運行日:月・火・木・金・土 運行時間帯:8時30分～15時30分(13時～14時除く) 運賃:300円～700円	初回のためなし。	A 計画に位置付けられたとおり、適切に運行された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 目標:令和6年度の1日当り乗車人数 5人/日 実績:6.9人/日 分析:実証運行から継続して運行してきたことにより、定期的にご利用いただく方が増えてきたことによる理由によると考えられる。	・定額乗車券や回数乗車券などのお得な乗車券の周知を引き続き行い、定期利用者を増やしていく。 ・乗り継ぎ利用などモデル利用を作成し、周知を行い、利用者増へ繋げる。
日東交通株式会社	館山市街地循環バス 系統:循環 運行回数:6回/日 運賃:現金200円・キャッシュレス決済160円	・利用者向上策の実施が必要であったことから、EVバス導入にあわせ、キャッシュレス決済方法の拡大、愛称をモチーフとしたバスラッピングの実施、乗車機会を創出するため期間限定の無料乗車券の発行等を実施した。	A 計画に位置付けられたとおり、適切に運行された。	C 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった。 目標:令和6年度の1日当り乗車人数 40人/日、年間収支率10%以上 実績:33.3人/日、収支率7.20% 分析:EVバスを導入したことによる利用者数増加がみられるが、EVバスの車両代の支払いが開始したため、収支率は低下した。	・昨年度と比較し1日あたりの利用者数は増加しているが、収支率は低下しているため、より一層利用者を増やし運賃収入増加を目指す必要がある。 ・利用者増加に向けた定期的かつ広範囲の広報活動を実施する。 ・運賃以外の収入を得る方法を検討する。

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	一部目標は未達成となったが、キャッシュレス決済方法の拡大による利用者利便の向上や、無料乗車券の発行による利用促進に取り組んだことを評価する。 第三者評価委員会における有識者からの助言(下記)を今後の検討の参考としていただきたい。 ・デマンド交通で乗車人数が目標を達成されたことは素晴らしい。 ・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。 ・生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。
-------------------------	---